



安心と希望のための挑戦予算

～変化を確かな成果へ～

2022年度（令和4年度）重点政策



はじめに

本市では、「5つの挑戦」を更に展開させていくため、昨年3月に「福山みらい創造ビジョン」を策定し、安心して暮らせ、未来に希望が持てる新たな都市づくりをスタートさせました。

2年目となる新年度では、ビジョンに掲げる「新型コロナウイルス感染症対策の強化」、「都市魅力の創造」、「人口減少対策の強化」の3つの柱と、これらを支える基盤となる「デジタル化の推進」に引き続き注力し、「5つの挑戦」により、感じられ始めた変化を確かな成果につなげていきます。

新型コロナウイルスは、長期にわたり市民生活や社会経済活動に大きな影響をもたらしています。安心な暮らしを守るため、引き続き新型コロナウイルス対策に万全を期してまいります。

また、福山駅周辺の再生や魅力ある地域づくりなど都市魅力の創造に注力するとともに、福山ネウボラの強化や未来を担う人材育成など、人口減少対策の取組も一層強化します。

そして、これらを支える基盤となるデジタル化の取組も加速していきます。

特に、ポストコロナの新しい社会を見据え、福山城築城400年記念事業や2025年（令和7年）の世界バラ会議福山大会の開催に向けた環境整備、そして産業・地域・行政のデジタル化に力を注ぎます。

このコロナ禍を、市民の皆様と共に乗り越え、引き続き「スピード感・情報発信・連携」を市政運営の基本に据え、「安心と希望の都市」の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。

2022年(令和4年)2月

福山市長 枝広 直幹

目次

I	福山みらい創造ビジョンに基づく都市づくり	
1	福山みらい創造ビジョン ロードマップ(2021年度～2025年度)	2
2	2022年度(令和4年度)の位置付け	3
II	2022年度(令和4年度)予算 「安心と希望のための挑戦予算～変化を確かな成果へ～」	
1	柱立て	
(1)	3つの柱	6
(2)	3つの柱を支える基盤	6
2	柱立てに位置付く政策	
(1)	新型コロナウイルス感染症対策の強化	8
(2)	都市魅力の創造	9
(3)	人口減少対策の強化	16
(4)	デジタル化の推進	18
3	参考	
(1)	連携中枢都市圏構想の推進	20
(2)	新5つの挑戦の主な施策	21
(3)	総合的な財源確保	23

I 福山みらい創造ビジョンに基づく都市づくり

1 福山みらい創造ビジョン ロードマップ(2021年度～2025年度)



2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
挑戦1 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造				
<ul style="list-style-type: none"> ○中央公園Park-PFI事業開始 ○仙酔島活性化基本構想の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅前広場整備基本方針の策定 ○駅北ロスクエア完成 ○エフピコRiMリニューアルオープン ○世界パラ会議 3か年集中対策(植栽デザイン計画に基づく環境整備、多言語対応などのMICE環境整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ○三之丸町地区優良建築物等整備事業完了 		<ul style="list-style-type: none"> ○世界パラ会議福山大会の開催
挑戦2 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現				
<ul style="list-style-type: none"> ○福山ネウボラの強化 子ども家庭総合支援拠点設置 あのね・えほんの国併設オープン ○フレイルチェックアプリの運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマート保育の推進 ミニえほんの国 スタート ○高齢者のスマートフォン活用支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○インクルーシブ遊具などの整備(再掲) ○市民病院の増改築工事 		
挑戦3 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築				
<ul style="list-style-type: none"> ○多様な働き方の創出(ワーケーションふくやま、兼業・副業による人材活用の推進) ○福山道路・福山沼隈道路整備促進 ○福山港ふ頭再編改良(箕沖)完了(国・県) 	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが集い楽しめる公園づくり 公園遊具整備計画の策定 ○Park-PFIの活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○福山北産業団地造成完了 ○福山港ふ頭再編改良(箕島)完了(国・県) ○抜本的な浸水対策完了(おおむね5年間集中実施) ○インクルーシブ遊具などの整備 		<ul style="list-style-type: none"> ○蔵王ポンプ場(手城川流域)完成
挑戦4 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興				
<ul style="list-style-type: none"> ○OGIGAスクール構想による教育の充実 ○市立大学法人化 ○地域戦略の策定 ○(仮称)まちづくり支援拠点施設整備 基本構想・基本計画策定 ○(仮称)子ども未来館整備 基本構想・基本計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○義務教育学校、イェナプラン教育校、特認校、新市中央中学校の開校 ○地域資源を活用した地域活性化 ○地域デジタル化推進リーダー育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○(仮称)加茂小学校・加茂中学校の開校 ○市立小中学校の耐震化完了 ○市立小中学校図書館整備完了 ○(仮称)福山市立大学複合施設完成 	<ul style="list-style-type: none"> ○次期ごみ処理施設完成 ○福山高等学校の部活動環境整備完了 	<ul style="list-style-type: none"> ○(仮称)まちづくり支援拠点施設完成
挑戦5 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創造				
<ul style="list-style-type: none"> ○福山城築城400年(天守外観復元、博物館リニューアルなど) ○鞆町東西交通・交流拠点整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○福山城築城400年(天守外観復元、博物館リニューアルなど) ○鞆町町並み保存拠点施設完成 	<ul style="list-style-type: none"> ○(仮称)福山城保存活用プロジェクトNEXT400(福山城の利活用、二之丸西側上段石垣復元など) ○鞆町の山側トンネル整備完了(県) 	<ul style="list-style-type: none"> ○(仮称)鞆町平地区ふれあい広場完成 ○スポーツ施設の再編(庭球場、屋内水泳場) 	

2 2022年度(令和4年度)の位置付け

福山城築城400年を迎える

2022年(令和4年)8月に福山城は築城400年を迎えます。「福山」というまちが誕生して400年という節目にあたり、これまでの福山の歩みを振り返り、歴史・文化の価値や魅力を再認識し、磨き上げ、市内外に発信します。そして、「城があるまち福山」を市民全体の誇りとしていきます。



安心と成長を支える都市基盤づくりの総仕上げに“つなぐ”年

2023年度(令和5年度)には、おおむね5年間の抜本的な浸水対策、市立小中学校の耐震化や図書館の整備、福山北産業団地の造成、三之丸町地区優良建築物等整備事業などが完了し、まちの景色が大きく変わります。

新年度は、安心と成長を支えるこれらの都市基盤づくりの総仕上げにつなげていきます。



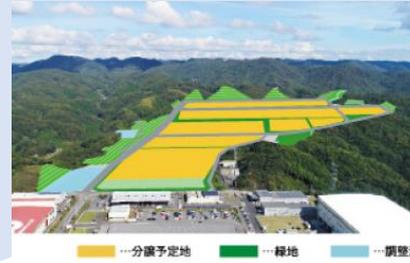
おおむね5年間の抜本的な浸水対策



市立小中学校の耐震化



学校図書館の整備



福山北産業団地の造成



三之丸町地区
優良建築物等整備事業

市民一人一人の安心な暮らしと希望が実現する都市づくりを進める

Ⅱ 2022年度(令和4年度)予算 「安心と希望のための挑戦予算～変化を確かな成果へ～」

安心と希望のための挑戦予算

～変化を確かな成果へ～

当初予算額：約419億円

2022年度（令和4年度）重点政策

【一般会計分：約325億円（政策経費の約60%）】

2021年度（令和3年度）3月補正予算前倒し分の約6億円を加えた実質的な予算額は約425億円

1 柱立て

(1) 3つの柱

- 新型コロナウイルス感染症対策の強化
- 都市魅力の創造
- 人口減少対策の強化

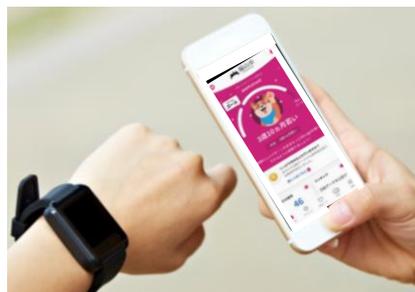
(2) 3つの柱を支える基盤

- デジタル化の推進

「福山城築城400年記念事業」、「世界バラ会議福山大会に向けた都市環境整備3か年集中対策（関連事業含む）」、「産業・地域・行政のデジタル化」を加速するため、

みらい創造特別枠

を設定



みらい創造特別枠

当初予算額：約25億円 【一般会計分：約22億円】

加速していく3つの取組

1 福山城築城400年記念事業 **約11億円** 【一般会計分：約11億円】

**2 世界バラ会議福山大会に向けた
都市環境整備 3か年集中対策**
(関連事業含む) **約4億円** 【一般会計分：約4億円】

3 産業・地域・行政のデジタル化 **約10億円** 【一般会計分：約7億円】

2 柱立てに位置付く政策

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の強化

当初予算額:948,315千円

【一般会計分:926,262千円】

(国の補正予算に伴う前倒し分:299百万円程度)

① 感染拡大防止策の徹底 (857,056千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分:299百万円程度)

○ 検査体制の確保

- 行政機関や医療機関などにおける円滑なPCR検査の実施

○ ⑧ 自宅などでの療養体制の強化

- 入院していない患者への酸素投与のための酸素濃縮装置の整備

○ 後方医療機関への支援

- 新型コロナウイルス感染症の治療後も基礎疾患などにより入院を要する患者を受け入れる医療機関への補助

○ 衛生管理の継続

- 保育施設などにおける消毒の徹底や文化施設における抗菌コーティングの実施(国の補正予算に伴う前倒し)



② 市民への生活支援 (67,323千円)

○ 離職者などへの支援

- 廃業や離職者に対する緊急雇用や住宅の確保支援

○ 高齢者や障がい者への支援

- 在宅の高齢者や障がい者に対する配食サービスの拡充と見守り活動の充実



③ 中小事業者への支援 (23,936千円)

○ 事業の継続支援

- 人材シェアリングの推進
- 通所系介護サービス事業所や障がい福祉サービス事業所の訪問サービス事業実施のための補助

(2) 都市魅力の創造

当初予算額:31,620,055千円

【一般会計分:22,793,229千円】

(国の補正予算に伴う前倒し分:36百万円程度)

① 福山城築城400年 (1,124,146千円)

福山城400年博



○ 福山城築城400年記念日

- ・天守北側鉄板張りセレモニー
- ・福山城ライトアップ点灯式
- ・福山城博物館リニューアルオープン

○ 市民企画事業

- ・市民団体や事業者が実施するイベントを市内各所で開催 (33事業)

○ 全国へのPR

- ・全国城下町シンポジウム福山大会
- ・全国藩校サミット福山大会

○ フィナーレイベント

- ・チームラボ福山城 光の祭
- ・福山時代行列、福山とんど祭り



体験できる

デジタルコンテンツを
活用した歴史体験



学べる

福山城の魅力発信
福山の歴史・偉人などの学習



親しめる

施設のバリアフリー化
案内・解説などの多言語対応



泊まれる

城泊の実施



次世代への継承

○ 史跡福山城跡の保存整備

- ・史跡福山城跡保存整備基本計画に基づく整備
(二之丸西側石垣の復元設計・整備、
東側石垣を往時の姿に復元 など)
- ・伏見櫓の学術的調査



全国唯一の
鉄板張りを復元

8月28日リニューアルオープン

「城があるまち福山」を市民の誇りへ

② 世界バラ会議福山大会の成功に向けて (432,294千円)

都市環境整備3か年集中対策

ばらが咲き誇るまちづくり	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
植栽デザイン計画に基づく公園などの整備 ・ 拠点となる公園などの植栽や修繕 ・ ばら花壇の充実 ・ 限りなく無農薬で育てられるばらの開発	公園植栽・施設修繕(ばら公園、花園公園、緑町公園など) (設計)	公園植栽・施設修繕(ばら公園、花園公園、緑町公園など) (整備)	公園植栽・施設修繕(ばら公園、花園公園、緑町公園など) (整備)	
		ローズロード等植栽整備		
国内外に開かれた都市づくり MICE・インバウンド環境の整備 ・ MICEの開催基盤の整備 ・ 観光客の受入環境の充実	地域花壇等植栽の整備補助			
	新品種国際コンテスト(記念ばら) (募集)	新品種国際コンテスト(記念ばら) (育苗)	新品種国際コンテスト(記念ばら) (審査)	
	サイン整備(案内標識多言語化)			
	福山駅観光案内所 リニューアル			
	公衆無線LAN設置 (ばら公園、福山城)			
	エクスカージョン ツアー造成			
	通訳ボランティア・ガイドの育成			
	会場周辺道路の整備 [関連事業]			
	施設のバリアフリー化、トイレ洋式化 [関連事業]			
	移動サービスの充実(観光MaaS、自動運転) [関連事業] (検討)	移動サービスの充実(観光MaaS、自動運転) [関連事業] (検討・実証)	移動サービスの充実(観光MaaS、自動運転) [関連事業] (検討・実証)	移動サービスの充実(観光MaaS、自動運転) [関連事業] (検討・実証)



第20回
世界バラ会議
福山大会
2025

WERS 20th
WORLD ROSE CONVENTION
2025 in FUKUYAMA

世界バラ会議福山大会

開催機運の醸成

○ 大会の開催PR

- ・ 新アデレード大会でのプレゼンテーション
- ・ 新モーショングラフィックの開催
- ・ 新シンポジウムの開催



※イメージ

③ 福山駅周辺の再生 (587,909千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分:24百万円程度)

ウォーカブルな空間づくり

○ 駅前広場の再整備

- 交通結節機能と都市の広場機能が融合する広場への転換に向けた基本方針の策定
- にぎわいの創出に向けた実証実験や道路整備方法の検討



○ エフピコRiMの再生

- iti SETOUCHI (イチセトウチ) が1階部分にオープン

〔 飲食、アート、ワーキングなど
多彩なコンテンツによるエリア
価値の向上 〕

○ 三之丸町地区の再開発

- 備後圏域の玄関口にふさわしい空間づくりに向けた施設の整備



○ 新分煙環境の整備

- 受動喫煙などの防止に向けた路上喫煙制限区域の指定
- 区域内の喫煙所の設置

○ 道路空間の活用

- ほこみち制度を活用したテラス営業などによるにぎわい創出



○ 福山駅前デザイン会議などの運営

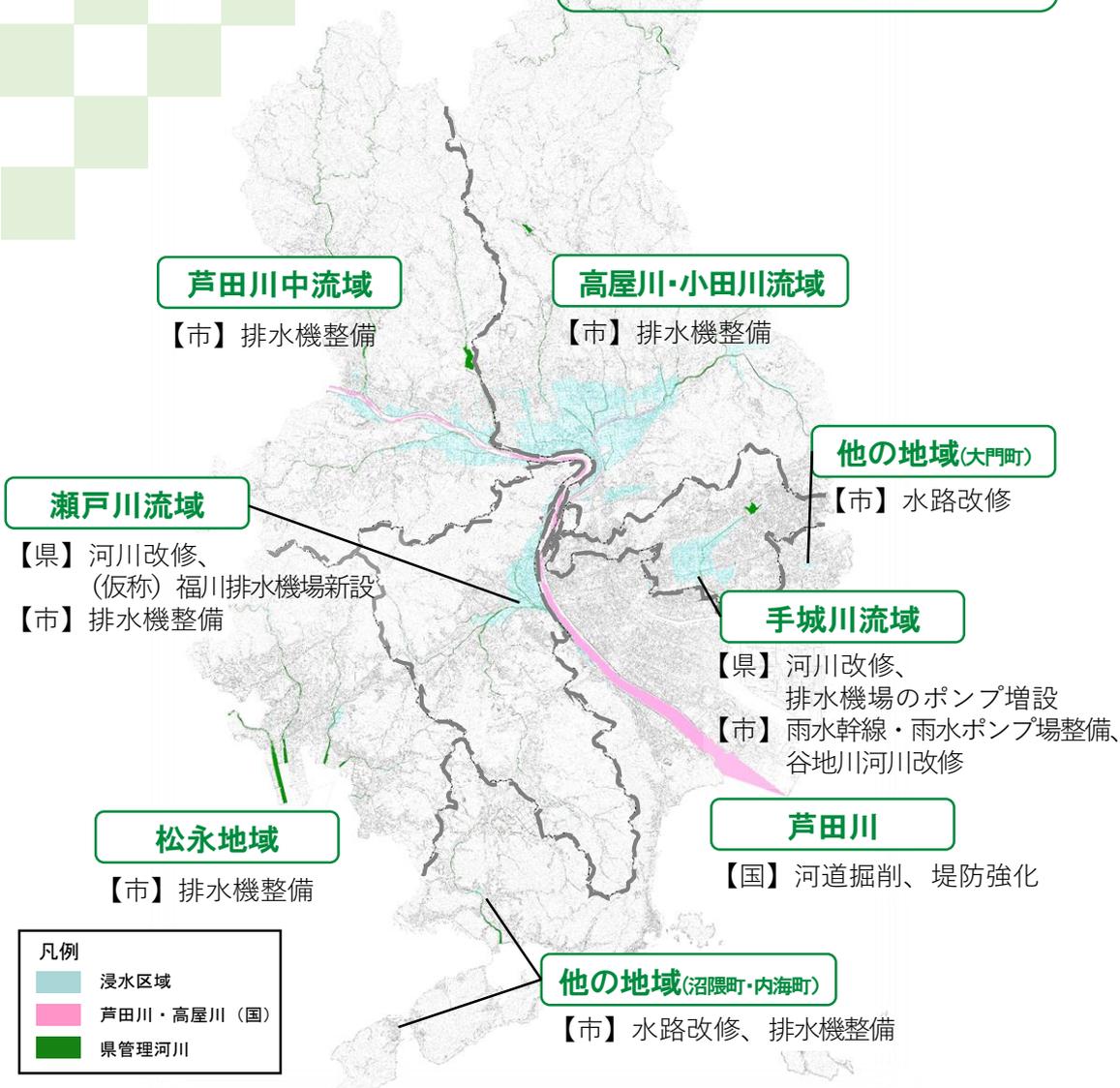
- 駅周辺再生に向けた具体の手法の検討(国の補正予算に伴う前倒し)



④ 防災・減災の推進 (11,203,356千円)

抜本的な浸水対策

おおむね5年間の集中実施
(~2023年度)



ため池の安全対策の強化

○ ため池の耐震化

- 川原山池(坪生町)、茂浦池(熊野町)、本谷池(金江町)

○ 防災重点ため池ハザードマップの作成・配布

森林の災害防止機能の向上

○ 新災害に強い森づくりの推進

- 森林所有者や地元住民への意向調査、森林整備の実施

地域防災力の強化

○ きめ細かな防災情報の発信

- 土砂災害警戒区域と洪水浸水想定区域を合わせて表示したハザードマップの作成
- 避難情報などを速やかに市民に発信する一括送信システムの導入【再掲】

○ 迅速な避難行動につなげる取組

- 避難行動要支援者の個別避難計画作成を支援
- 全市一斉の総合防災訓練の実施

○ 人材育成

- 外国人防災ボランティア人材の発掘・育成
- 地域の防災をけん引する防災リーダーの育成



⑤ 魅力ある地域づくり (191,039千円)

地域資源の磨き上げと活用

- ⑧ 地域資源の活用に向けた調査・研究
 - ・ 地域資源の価値や有用性の評価と活用策の検討
- ⑧ Park-PFIの活用の検討

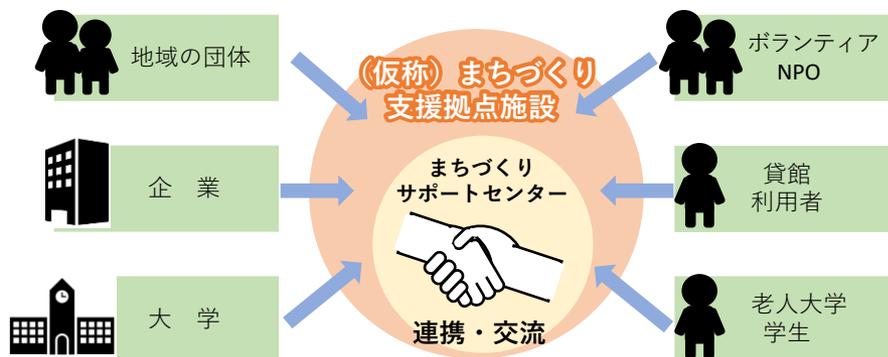
地域づくりへの関心の呼び起こし

- ⑧ 産学官連携による地域課題の解決
 - ・ 産学官が連携して地域課題の解決に取り組むための課題抽出や解決策の検討・実施
- 地域体験ツアー
 - ・ 市内大学生などの企画によるツアーの実施
- ワークーションふくやまの推進
 - ・ ⑧ 地域資源の掘り起こしや地域課題の解決策を提案するフィールドワークの実施【再掲】



地域と多様な主体の連携

- まちづくりサポートセンターの機能強化
 - ・ 地域づくりに関する情報発信や人材の発掘・育成
 - ・ 多様な主体のネットワーク構築や情報交流の場の提供
- (仮称)まちづくり支援拠点施設の整備
 - ・ 施設整備事業者の選定



共に創る地域づくりの推進

- 持続可能な地域コミュニティの形成支援
 - ・ 地域と多様な主体が共に創る地域づくりに向けた取組支援
 - ・ 各支所（地域振興課）などを中心とした支援体制の充実

⑥ 脱炭素社会の実現に向けて (13,999,157千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分:12百万円程度)

- 再生可能エネルギーの地産地消促進
 - ・ 地産電源の調達や電力供給先の拡大
- 新 温室効果ガス削減に向けた調査・検討
 - ・ 2050年に向けた将来ビジョンの策定 (国の補正予算に伴う前倒し)
- 新 公園外灯の省エネ化
 - ・ 水銀灯をLED灯へ更新
- 次期ごみ処理施設の整備
 - ・ プラント工事に着手



※次期ごみ処理施設完成イメージ図

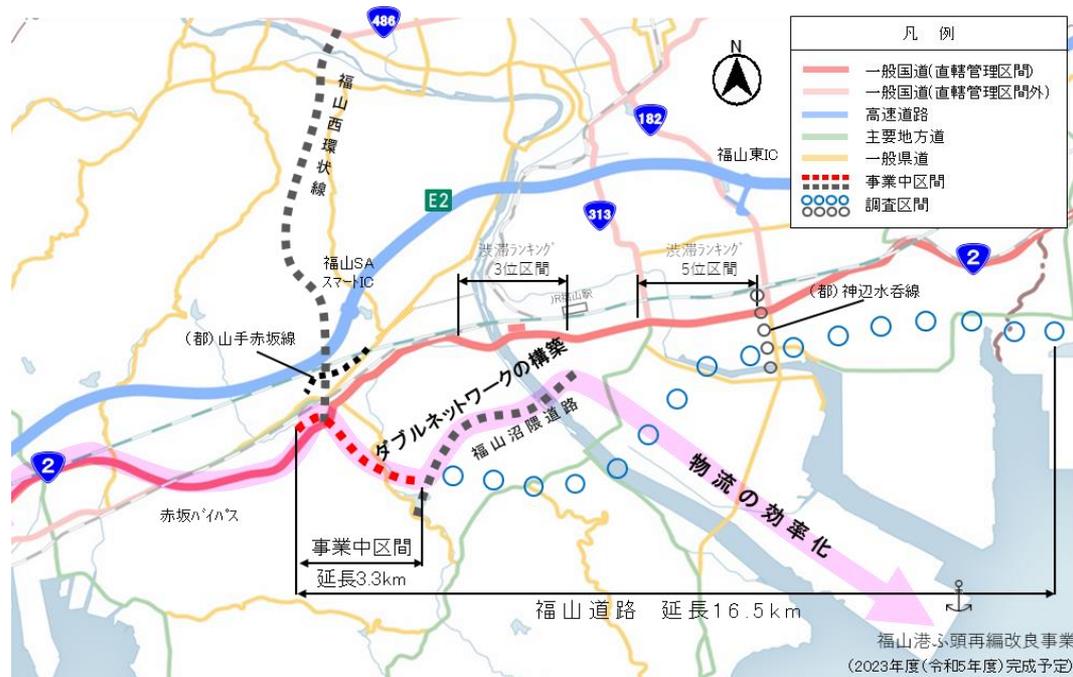
⑦ 産業の活性化 (3,910,430千円)

経済成長を支える基盤整備

- 交流・物流ネットワーク機能の強化
 - ・ 幹線道路網の整備促進
 - ・ 交通円滑化などの対策を検討
 - ・ 福山港の整備促進
- 福山北産業団地第2期事業の推進
 - ・ 造成工事の本格化

持続可能な産業の推進

- 新 SDGsに取り組む企業への支援
 - ・ SDGsの視点を踏まえた設備導入や商品開発への補助
- 販路開拓の支援
 - ・ 新 海外バイヤーを招へいたデニム商談会の実施
- 農林水産業の振興
 - ・ 新 水産資源の増加に向けた海底耕うんの効果検証、川砂投入の調査
 - ・ 新 農地の適性調査【再掲】



⑧ 医療提供体制の強化 (171,724千円)

福山市民病院の機能強化

○ 市民病院本館の建て替え

- ・ 周産期医療の充実や高度専門医療の機能強化などに向けた増改築の実設計 (2023年度 建設工事着手)



安定した医療提供体制の構築

○ 医療人材の確保

- ・ 初期臨床研修医の研修への支援を専攻医まで拡大
- ・ 医療版ワーケーションの試行実施
- ・ 飛びんご看護ネットのリニューアル
- ・ 広島県ナースセンター・サテライト福山と連携した潜在看護職員の掘り起こし

○ 周産期医療体制の強化

- ・ 大学連携による産婦人科医の派遣
- ・ 持続可能な周産期医療体制の構築に向けた調査・研究及び人材育成



(3) 人口減少対策の強化

当初予算額:3,848,450千円

【一般会計分:3,848,450千円】

(国の補正予算に伴う前倒し分:105百万円程度)

① 福山ネウボラの強化 (2,496,551千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分:3百万円程度)

支援が必要な家庭へのサポートの充実

- 新医療的ケア児の保育の充実
 - ・ 保育所などにおいて看護師を配置し、受入体制を整備
- 新子どもの見守り・成長支援体制の構築
 - ・ 異変の早期発見と迅速に対応できる仕組みの構築に向けた、福祉や教育に関するデータの分析【再掲】
 - ・ 児童相談所との更なる連携（国の補正予算に伴う前倒し）
- 新外国人子育て世帯への支援
 - ・ 子育て訪問時に通訳ボランティアを派遣
- こども発達支援センターの機能強化
 - ・ 医師などの増員による相談・支援体制の強化

待機児童ゼロへの再チャレンジ

- 保育所などの入所制度の充実
 - ・ 保育士の職場復帰に向けた支援や兄弟姉妹が同一園に入所できるよう、更に制度を充実
- 保育人材の確保
 - ・ 保育補助者の雇用、保育士資格取得に要する費用の補助
 - ・ 市外出身の保育士に対する家賃の補助



親子でふれあう時間の充実

- 新「ミニえほんの国」の開始
 - ・ 地域子育て支援拠点における絵本の読み聞かせや貸し出し
- 新(仮称)ふくやま子育てママ応援スクール
 - ・ 親子と一緒に楽しめる運動スクールの開催



誰もが集い楽しめる公園づくり

- 新公園遊具の整備に向けた検討
 - ・ 公園遊具の多様なニーズを把握し、インクルーシブ遊具などの整備計画を策定



※福岡市提供

② 未来を支える人材育成・確保 (1,326,346千円)



○ 未来創生人材育成奨学資金

- ・金融機関と連携した奨学ローンに対して、市内就職を条件とした返済の補助

【対象】

◎ グローカル人材、デジタル人材、保育士、看護師をめざす学生



○ 企業の人材確保支援の強化

- ・ 〓 移住支援金の創設
- ・ 企業インターンシップの実施
- ・ 高校生、外国人留学生を対象にした企業説明会の開催

○ (仮称)子ども未来館基本計画の策定

③ 希望の働き方の実現 (25,553千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分:102百万円程度)

○ 女性の活躍促進

- ・ 女性が働きやすい職場環境を整備する企業への支援
- ・ 「キャリアプラン」と結婚・出産などの「ライフプラン」を考える講座の開催

○ ワーケーションふくやまの推進

- ・ 〓 首都圏などの人材と地域のコミュニティをつなぐコーディネーターの配置
- ・ 〓 地域資源の掘り起こしや地域課題の解決策を提案するフィールドワークの実施

○ 兼業・副業人材の活用

- ・ 兼業・副業の普及に向けた有用性の周知や事例の共有
- ・ 〓 企業と高度専門人材を円滑につなぐ仕組みの構築

○ 〓 サテライトオフィスなどの整備

- ・ 民間事業者によるサテライトオフィスの整備などに要する費用の補助(国の補正予算に伴う前倒し)

○ 子どもの個性を尊重した学びの充実

- ・ 常石とともに学園（イエナプラン教育校）や広瀬学園（特認校）の開校

○ 〓 福山高等学校部活動の環境整備

- ・ 屋内練習場の整備やグラウンドの拡張など部活動環境の充実

○ (仮称)福山市立大学複合施設の整備

- ・ 教育研究環境の充実や地域・企業との連携などを推進する複合施設の整備



(4) デジタル化の推進

当初予算額:957,155千円

【一般会計分:668,438千円】

(国の補正予算に伴う前倒し分:196百万円程度)

めざす姿

「誰もが、デジタル化の恩恵を享受できる都市 ふくやま」の実現

産業

「世界とつながり、新しい価値を生み出す産業」の実現

地域

「安心・快適な暮らしと希望のライフスタイル」の実現

行政手続のオンライン化が企業の事務処理などのデジタル化を誘発

通信環境の整備や行政手続のオンライン化が地域の情報発信や申請事務などのデジタル化を誘発

行政

「行政サービスをいつでも、どこでも受けられるスマート市役所」の実現

① デジタル化の推進体制 (33,559千円)

○ デジタル専門人材の活用

- ・ CDO・CDO補佐官として外部人材を活用

○ 官民連携による会議体の設置

- ・ 中小企業や地域団体のデジタル化を推進

② 産業のデジタル化 (105,550千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分:12百万円程度)

○ 企業・事業者のデジタル化支援

- びんごICT相談所による伴走型の課題解決支援
- ITツール導入の補助
- スマート農業の導入支援
- 障害がい福祉サービス事業所における生産性向上の取組支援
(国の補正予算に伴う前倒し)

○ デジタル人材の育成

- 企業向けデジタル化セミナーの開催
- AI導入に関する講座の開催
- 首都圏などのデジタル関連企業と市内中小企業との交流



③ 地域のデジタル化 (70,348千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分:5百万円程度)

○ 地域課題の解決支援

- 自動運転の実証実験
- 地域活動のデジタル化支援
- 介護ロボット導入支援
(国の補正予算に伴う前倒し)

○ デジタル化を推進するリーダーの育成

- 地域活動にSNSなどを導入する手法を学ぶセミナーの開催



④ 行政のデジタル化 (747,698千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分:179百万円程度)

○ 市民サービスの向上

- 書かない窓口システムの導入
- 公共施設へのスマートロックの導入
- 避難情報一括送信システムの導入

○ データの利活用

- 農地の適性調査

○ 行政内部事務の効率化

- 民生委員のタブレット端末の活用
- 消防団アプリの導入
- 子どもの見守り・成長支援体制の構築
- スマート保育の推進
(国の補正予算に伴う前倒し (一部))

○ 通信環境の整備

- 公共施設や文化・観光スポットのWi-Fi整備

○ 高齢者等のデジタル活用支援

- 高齢者のスマートフォン活用支援
(国の補正予算に伴う前倒し)
- 電子申請やチャットボットの利用方法などの講習会の開催



3 参考

(1) 連携中枢都市圏構想の推進

当初予算額：15,463,314 千円



経済



びんごイノベーションエコシステム 形成支援プロジェクト

○ 経済循環の強化

- ・ 海外バイヤーを招へいたデニム商談会の実施
- ・ 6次産業化支援を販路拡大まで拡充
- ・ ふるさと納税共通返礼品の設定

○ びんごAI講座

- ・ 経営層のAIへの理解を深めるセミナーの開催
- ・ 企業の現場にAIを導入するための実務者向け講座の開催



都市機能



医療連携強化プロジェクト

○ 医療人材の確保

- ・ 初期臨床研修医の研修への支援を専攻医まで拡大
- ・ びんご看護ネットのリニューアル

○ こども発達支援センターの機能強化

- ・ 医師などの増員による相談・支援体制の強化

○ 地域包括ケア資源マップの再構築

- ・ 在宅医療や介護の情報を掲載するweb上のマップを機能強化



住民サービス

行政サービス効率化 プロジェクト

○ 行政サービスのデジタル化

- ・ AIチャットボット、電子申請などの導入拡大
- ・ マイナンバーカードの取得率向上への連携

広域観光・交流プロジェクト

○ 「食」のコンテンツの活用

- ・ 「びんごい一つ」を活用した周遊観光の促進

○ 圏域間連携による観光誘客

- ・ 高梁川流域圏域と連携したコンテンツの構築

○ 備後圏域サイクリングエリアの構築

- ・ サイクリングロードの整備などによるサイクリストの誘致



○ 新びんご兼業・副業人材の活用

- ・ 圏域内市町における高度専門人材の共有と活用

(2) 新5つの挑戦の主な施策 ※これまでに掲載した施策も含む

挑戦1 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造

当初予算額：821,978千円



- 駅前広場の整備基本方針策定
- エフピコRiMの再生
- 丸之内公園の整備
- しおまち海道サイクリングロードなどの取組
- 仙酔島施設整備

- 観光誘客促進に向けた取組
 - ・ ㈱ナイトキャスル事業
- 世界バラ会議福山大会に向けた取組
 - ・ 植栽デザイン計画の詳細設計・整備
 - ・ ㈱ばらの新品種国際コンテストの実施

挑戦2 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現

当初予算額：3,815,116千円



- 福山ネウボラの推進
- 子ども家庭総合支援拠点の運営
- 男性の育児参加促進
- ㈱（仮称）ふくやま子育てママ応援スクール
- 子どもの医療費助成
- ㈱医療的ケア児の保育の充実

- フレイル予防の推進
- 認知症の方を地域で支える取組の充実
- 市民病院本館の建て替え
- 初期臨床研修医及び専攻医への支援
- ㈱地域共生社会に関する講演会の開催

挑戦3 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築

当初予算額：29,636,623千円



- Fuku-Bizによる売上向上・創業に向けた支援
- ㈱SDGsに取り組む企業への支援
- ㈱移住支援金の創設
- ㈱災害に強い森づくりの推進
- 幹線道路網の整備促進

- 抜本的な浸水対策
- 災害備蓄の充実
- ㈱Park-PFIの活用の検討
- ㈱インクルーシブ遊具などの整備計画の策定
- 次期ごみ処理施設の整備

挑戦4 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興

当初予算額：4,621,856千円



- 授業における民間プールなどの活用
 - ・ 公共や民間のプールを活用した水泳授業の実施
- 「学びを拓く学校図書館」充実プラン
 - ・ 興味や関心が膨らむ図書の実践とリラックスできる環境づくり
- 義務教育学校の整備
- 福山高等学校部活動の環境整備
- 学校再編後の地域づくり
 - ・ 学校跡地の利活用を始めとした地域活性化
- 多文化共生のまちづくりの推進
- 産学官連携による地域課題の解決

挑戦5 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出

当初予算額：1,999,253千円



- 廉塾保存整備事業
- 神辺本陣保存整備事業
- ばらのまち福山国際音楽祭
- 日本遺産を活用した鞆の浦の魅力発信
- 鞆町山側トンネル整備関連事業
- 鞆町町並み保存拠点施設の整備
- 鞆地区東西交通・交流拠点の整備
- わがまちスポーツ推進事業
- 庭球場・水泳場の再編
- プロスポーツ大会などの誘致

デジタル化の推進

当初予算額：957,155千円



- デジタル専門人材の活用
- AI導入に関する講座の開催
- びんごICT相談所・びんごデジタルラボの運営
- ITツール導入の補助
- 書かない窓口システムの導入
- 電子申請対象手続の拡充
- 福山市公式LINEの機能拡充
- タブレットを活用した業務の効率化 (民生委員・農業委員)
- 公共施設等のWi-Fi整備

(3) 総合的な財源確保

中期的視点に立った都市づくりを支えるため、持続可能な財政の維持・構築に向けて、次の3つの視点からなる歳入歳出両面での総合的な財源確保に取り組んでいます。

① デジタル化などによる行政の効率化

4億円

デジタル技術などの活用による、事務の効率化と市民サービスの向上を図ります。

- 行政サービスの提供や内部事務処理へのAIチャットボット、RPAなどの活用
- リモート会議の促進による職員旅費の見直し
- ペーパーレス化による事務費の節減
- PDCAサイクルでの検証による事務事業の見直し・廃止

② 既存財産を活用した収入の拡大

7億円

今ある資産を有効活用し、新たな収入を産み出します。

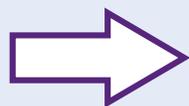
- 公共施設へのネーミングライツの導入
- 未利用スペースを活用した広告収入の拡大
- 庁舎敷地などのスペースの有効活用

③ 民間活力の活用などによる公共サービスの再構築

8億円

民間活力の活用を前提とする、官民連携による公共施設サービスの再構築を進めます。

- 授業における民間等プールの活用の拡大
- 保育所など、施設の民間移管・民間委託の推進
- 公園外灯のLED化による省エネルギーへの取組 など



2022年度財源確保効果額 19億円



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS